

平成元年・9月号
NO. 89-8
発行 桜木公民館
徳山市城ヶ丘2-4-21
Tel (0834) 28-5973

桜木地区「ふるさと創生」実行委員会の現況報告
★「ふるさと創生事業」について、去る五月十三日にコミュニティ理事会を開催
★として二ツの実行委員会(①とおの山整備実行委、②花いっぱい実行委)を発
★足させ、六月五日に第一回実行委員会を開催。その後、各委員会ごとに各種の
★検討が続けられていますので、その模様概況をお知らせします。

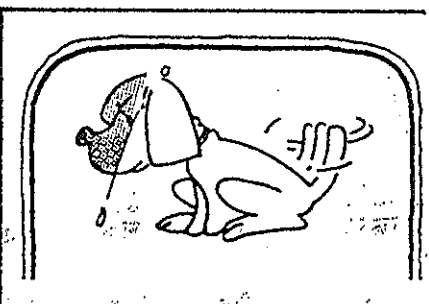
◎「おの山」整備実行委員会

基本構想!!!この山を、桜木地区だ
けでなく、周陽全体のシンボル「いこ
いの山」として、誰でも気軽に散策や
ハイキング出来るように開発整備し、
家族・子供会・自治会・地区のイベン
ト等で大いに利用出来るようにする。
事業概要!!!
○ハイキングコース2〜3本整備(内
1本は子供達のためアスレチック登
山が可能なようにする)
○飲料水の確保。○トイレの設置。
○遊具の設置。○望遠鏡の設置。○核
とつじの植樹。○案内板の設置。

○樹木名札の設置。○山頂の諸整備。
委員会では、実地探査を続けるほか、
測量、地域境界確認、等精力的に進め
ています。

◎「花いっぱい」実行委員会

基本構想!!!桜木地区のシンボル
樹である「さくら」にちなみ、「姫美
女桜」の花を地区いっぱい植栽し地
区を花と緑で包み込み、明るく暖かい
環境造りをする。
事業計画!!!地区内の公園・公有
地・をはじめ、了承される私有地等の



犬の「フン害」
に花壇が哭い
ています。

●地区内の各公園や道路
沿いに、自治会・老人会
等が丹精込めて花壇造り
が為されていますが、犬
の「糞害」で枯れてしま
い関係者は「ふんがい憤
慨」しています。
●公園内で犬の運動散歩
は自由ですが、犬の排泄
物処理については、花壇
を枯らすことのないよう
充分に気を付けて下さい
ますようお願い致します。

人生八十年
時代への対応

視点

「長生きの老後の生きかた」
「目的意識を持つて生きる」
●現在、日本は世界一の長寿国となり
人生八十年」といわれます。
一般的に、人は年齢とともに社会との
つながりが薄れ、社会や家庭の中での役
割が少なくなりがちです。
●長くなった老後の人生を健康に過ごし
いかに生きがいのあるものにしていくか
これは、お年寄りにとって重大な課
題であるといえます。
●現代社会の急速な変化に適応しながら
生活を営んでいくためには、お年寄りに
とつても平素の学習が大切であり「生涯
学習」の実践が不可欠だと言われます。
●生き生きとしているお年寄りには共通
点があると言われます。それは、好奇心
が旺盛で友達が多く、家庭や地域社会の
中で役割を担い、人生の基本方針を持っ
ている、といったことです。
●しかしこれらは、すぐにそうしようとし
ても簡単にはできません。やはり、自分の
目的意識をはっきり持った生き方を、ふだ
んから心がけることが肝心でしょう。
●身近にある学習の機会を利用したり、地
域社会の活動に積極的に参加したりして、
「仲間」や「役割」や「人生の基本方針」
を持つようになりたいものです。

人生の基本方針を持つ!!!

◎スポーツ便り◎「水泳大会」「市子連・球技大会」◎

桜木小学校学童・大活躍

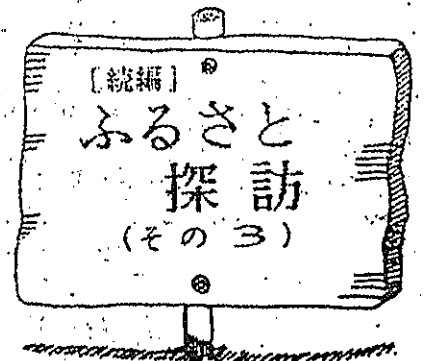
[水泳大会(学童の部)]

- 1年〜4年生
男・25m平泳ぎ②位。50m自由形③位。
50mバタフライ②位。
女・25m平泳ぎ②位。50m平泳ぎ①、②位
50m自由形③位。50m背泳ぎ①、②位
★100mリレー 男子優勝 女子準優勝
- 5年〜6年生
男・自由形50m③位。100m③位。
100m背泳①位。200m個人メドレー①位
★200mメドレー 優勝。200mリレー 優勝

[球技大会]

- ソフトボール(男子)
優勝
(*地区子連代表)
桜木3丁目チーム
- ポートボール(女子)
優勝
(*地区子連代表)
城ヶ丘4丁目チーム





寄稿 (第3稿) 黒坂政雄
(城ヶ丘5丁目10-34)
[城北会]

具足石(夜泣石)物語

◆鑑(よるい)に似た自然石は、何を語るのか

●とおの山の南側に、具足峠と呼ばれる所がある

滑(なめら)から、とおの山の北側の麓を通って上馬屋へ出る道から別れて平原へ通じる山路があるが、この路は昔、「幸田頭」(二)で「だんどう」(※1)が通っていた路である。

●この路の平原寄り(上平原から約二百米位西のあたり)の路傍に、奇妙な形をした高さ五・六十センチ位の自然石がある。一見して「具足(鑑)」をつけた形に似ているので「具足石」といわれれている。今は、木で作られた小さな鳥居も取り付けられている。この石は、俗に「鉄石(かじい)」と言う石で、この辺にある石たそうである。

古文書が伝える「鑑石」の伝説

●この具足石については、天保十三年(一八四二年)の「風土注進案」に、次のような記録が「夜泣石」と言う項目で記載(要点のみ)されている。

第10回 東部地区親睦球技大会

(東部地区各体育振興会単位で参加する大会 (8月27日実施))

★桜木地区休振の成績

●バドミントン(Cクラス)	優	優勝
〃(Bクラス)	準優	優勝
●インディアカ(女子)	3	位
〃(混合)	3	位
●卓球	3	位



夜泣石

「鑑(よるい)に似た自然石は、何を語るのか」という呼称が一般化したのである。

●平原の遠尾山の麓村に、平原何某と申す郷主の城があった。この遠尾山は城山とも言っていた。峠には広い平地があった。

然し、戦いで平原何某が滅亡したとき忠誠を尽くした一人の勇士が討ち死にした。この勇士は大いに無念がうて、その魂魄は具足を着けた石と化してしまった。昔から、この石は鑑石であると言っていた。その鑑石を庭石に取り寄せて使ったので、毎夜泣き声がした。それで終に元の所へ返してしまった。

伝説「夜泣石」

●古文書「風土注進案」の「鑑石」について、次のような地区伝説が残っている。昔、久米の里に金持ちの男がいた。この男は思ったことは何でもやってしまわねば気のすまぬ男であった。

ある日、家の庭を築くとき、「具足峠に良い石がある」ということを聞いたので、早速運ばせて庭を作った。



●男は満足して酒を酌み、夜遅くまで庭を眺めて大変喜んでいたら、ところが夜中になると、庭から「具足峠に帰ろう! 具足峠に帰ろう!」と、陰に籠った悲しい声で具足石が泣きだした。

●その泣き声は、殊のほか哀れで物悲しく胸にしみ通るようで、そのため男は気分が悪くなり、恐れ慄いたのである。

●男は、夜明けを待ち切れない思いで早々に具足石を元の所へ返して事無きを得たということである。その後、この石には誰も近寄る者も居なくなつたと言っていることである。

運動会

★桜木小学校
10月1日(日)

★周陽中学校
9月17日(日)

標語・ポスター募集

◎「ふるさと」推進の為青少年健全育成の市民意識の高揚を図る。(応募詳細は市健康課 822-8696まで)

*ポスターは四切画用紙。*シンボルマークは八切画用紙。*標語は官製乗書または同等大の紙で1枚1標語。

*締めきり 平成元年10月2日(日)

※入選発表は10月中旬とし、11月の社会教育振興大会で表彰する。

◎「花と緑のまちづくり」

花と緑いっぱい街づくりを呼びかける。

*標語: 表現形式は自由とする。

*ポスター: 文字はいれない。四切程度の大きさとする。

*応募締め切: 平成元年9月30日(必着)

※小学生・中学生・高校以上一般の3対象別に入選を選定し、11月5日号市広報で発表(入選発表は、おきつ運動場の表裏と月一日)

(応募詳細は、市企画部市民生活課 822-8223まで)

フレッシュ桜木 フェスティバル7000

●10月15日(日)●
於 - 桜木小学校(雨天実行)

8月3日から、実行委員会では企画研究協議を重ねて、最終的には9月2日の自治会長集会で実施内容が決定されました。

近々のうちに、詳細を「予告チラシ」でお知らせします。全世帯の協力をお願い致します。

郷土史家 神本正律先生の御懇切な御指導に深く感謝致しています。また、城五の古老 藤井末夫氏の御協力を有難く思っています。尚、夜泣石の伝説は「公民館だより」六十二年七月(八八)五号「清水 業先生の記事を参考にしました。」

※1 鑑(よるい)に似た自然石は、何を語るのか

※2 幸田頭(二)でだんどうが通っていた路である。

ジャズダンス講座の定員に余剰あり。加入申込希望者は公民館にお問い合わせを。